

循環器内科

研修の特色

循環器内科では心疾患、大血管疾患、肺循環疾患の研修を行う。その他の特殊な治療・検査として腎動脈狭窄に対するインターベンション、高血圧に関わる内分泌疾患に対する検査も行っており、経験することができる。年間PCI件数約400件(うち緊急150件)、カテーテルアブレーション件数約350件といずれも県内トップクラスの件数を行っており、循環器学会、カテーテルインターベンション学会、不整脈心電学会といった循環器科における主要な専門医学会の研修認定を受けることができる。またPCIではローターブレード、エキシマレーザー、不整脈治療ではクライオアブレーション、ICD(植え込み型除細動器)、両心室ペースメーカーなど特殊な治療を行うことのできる認定施設でもある。他医療機関と比較しても新技術、新デバイス等の導入が早いことも特色である。

また陶生病院内科全体の特色として内科専門分野別に7科(循環器、消化器、呼吸器、腎臓、代謝、血液、神経)がそろっており、内科全般の診療に関してサポートが受けられることや、臨床研究・発表に対するバックアップ体制が整っていることも挙げられる。



専攻医からのメッセージ

私は当院で初期研修を終え、その後、引き続き後期臨床研修を専攻しました。当院は内科の医師の数が多く、また各科ごとの風通しが良いです。さて、当院循環器内科では、心不全管理、虚血性心疾患、不整脈、デバイス治療など循環器診療領域は一通り経験をすることができます。自分で診た症例の治療は、上級医のバックアップのもと、1st operatorとして治療に携わることができ、知識だけでなく技術的な面の成長も日々実感することができます。また当院では地域連携に力を入れており、近隣のクリニックの先生方と直接顔を合わせてお話をすることが多く、紹介/逆紹介だけでなく在宅医療が必要になった場合にもスムーズに連携をとることができます。急性期の状態から治療に携わり、内服治療に切り替えて外来で経過を診る、病状が安定した段階で近隣の先生方との併診へ移行するという一連の流れを学びながら実践することができます。循環器内科医師としての基礎を固めることができます。循環器内科志望の方はもちろんのこと、それ以外の方も一度見学に来ていただくと幸いです。